



9人に1人が家具・家電などの長期リース型サブスクを利用

サブスクとは、サブスクリプションの略のこと。ある商品やサービスを一定期間、一定額で利用できる仕組みのことです。

サブスクの中でも長期にわたって利用する「長期リース型サブスク」を利用しているか聞いたところ、「利用している」が11.7%、「利用していない」が88.3%という結果になったという。この結果からおおむね9人に1人が長期リース型サブスクを利用していることとなります。長期リース型サブスクを利用している人を年代別に見ると、20代(13.8%)と30代(14.3%)が10代や(10.0%)や40代(6.7%)。この年代は耐久消費財を所有しない傾向があるといえるでしょう。次に、長期リース型サブスクを利用していると回答した人に、利用しているサブスクの商品を聞いたところ、「家電」が48.7%と最も多く、次いで「家具」の42.7%となった。家電や家具は生活する上で必要なものだが、金銭的負担も大きいことから、サブスクを利用することが多いことが分かる。

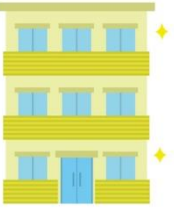
家具家電の長期リース型サブスク、メリットとデメリット

実家を出て一人暮らしを始める、結婚や同棲で新たに二人暮らしを始める、といったときに、新居の家具家電を買いそろえるのは大変な場合がある。引越しによる初期費用がかさむなか、家具家電のレンタルを利用すれば当初の費用を抑えることができる。一定期間だけ単身赴任することになった場合も同様だろう。家族と再び暮らすときに、単身赴任時の家具家電の処分をする必要もない。子どもの年齢が一定期間だけ必要となるものなども、一定期間レンタルすることが有効だ。つまり、「必要な期間だけ使える&コスパのよさ」がメリットと言える。一方、レンタルでは新品とは限らないこと、好きな家具家電がレンタルできることは限らないこと、長く使うとかえって割高になることなどのデメリットもある。20代~30代のZ世代は、「モノ消費」よりも「コト消費」を好み所有にこだわらないとか「買い物で失敗したくない」という意識が強いといった傾向があるとされている。家具家電についても選択肢が増えることで、お部屋探しの仕方も変化していくのではないだろうか。

※参考資料: SUUMOチャネル 9人に1人が家具・家電などの長期リース型サブスクを利用。メリットやデメリットなども解説

入居率や資産価値の向上につながる 外壁を貼り替えて見た目を一新!

賃貸住宅の構造に関係なく必ず発生するのが外壁工事です。適切な時期に工事を行えば、外観のイメージを一新出来るだけでなく、資産価値や入居率が向上するなどプラスになることがたくさんあります。

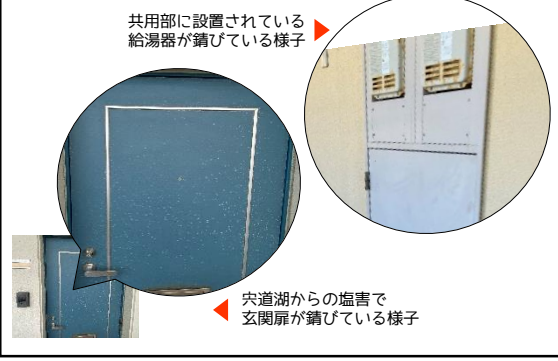


劣化現象とは?



- ・外壁を指で触ったときに白い粉のようなものがつく「チョーキング現象」が起きている
- ・タイルが剥がれかけている
- ・壁のひびに沿ってモフモフとした模様が浮きでる「エフロ現象」が起きている
- ・窓周りのパッキンに隙間がある

その他にも劣化現調が...



それを防ぐためには 的確な時期に外壁工事を 行うことが大事!

- ・雨漏りやタイル落下などのトラブルを未然に防ぐことが出来る
- ・建物の外観が一新され、空室が減って入居率向上につながる
- ・資産価値が上がる

大家さんにとってメリットがたくさん生まれます

新しい仲間をご紹介します!

4月16日より入社致しました安達(あだち)です。不動産業界は未経験ではありますが、お客様にご提案でき、満足して頂けるような接客が出来ればと思っております。頑張りますのでよろしくお願い致します。

松江駅前店 賃貸課に所属しています

